

第32回マルちゃん杯東北少年柔道大会 実施要項

1 目的

柔道試合を通じて、心身の鍛錬及びその技能を磨き、将来を担う東北の少年相互の親睦を図り、明るく、正しく、そしてたくましい少年の健全育成を目的とする。

2 主催

東北柔道連盟 東洋水産株式会社

3 主管

岩手県柔道連盟

4 後援

岩手県、(公財)全日本柔道連盟、岩手県教育委員会、(公財)岩手県体育協会、岩手県スポーツ少年団、岩手日報社、NHK 盛岡放送局、IBC 岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、ベースボールマガジン社「近代柔道」、ベルジョイス

5 日時

2019年5月12日(日)

開会式 午前8時30分(開場 午前7時00分)

監督・審判会議 午前7時50分 剣道場

試合開始 午前9時00分

6 会場

岩手県営武道館

〒020-0122 盛岡市みたけ 3-24-1 電話 019-641-4577

7 試合種別

小学生の部(男女混合)・中学生男子の部・中学生女子の部の3部制とする。

出場チームは各種別において1団体1チームとする。

8 参加資格

(1) 出場するチームは、現に各加盟団体の市町村の小・中学校に在籍している者であって、「学校」・「道場」・「クラブ」・「スポーツ少年団」単位とする。(全日本柔道連盟登録をすること)

(2) 監督・選手は全日本柔道連盟登録をすること。

また、監督は全日本柔道連盟公認指導者資格C指導員以上、または学校顧問特例資格を取得していること。

なお、選手を臨時に他のチームから移籍する等の行為があった場合は、そのチームを失格とし、今後の本大会への出場を認めない。

(3) 選手本人の出場意思を確認し、健康に十分な配慮を行い、保護者並びに団体の承認を得ていること。

(4) 皮膚真菌症(トングランス感染症)について、感染が判明した場合は、大会に出場できない場合もあるので適切な治療を行うこと。

(5) 選手の氏名・学校名・身長・体重等のプログラム掲載、及び大会結果・写真等の新聞・雑誌への掲載について保護者からの承諾を得ていること。

ただし、特別の事情のある場合は大会事務局に申し出ること。

9 審判規定

(1) 試合は国際柔道連盟試合審判規定(2018-2020)及び国内における「少年大会特別規定」で行なう。

(2) 試合時間は2分とする。但し小学生の部における決勝戦及び中学生の部における準決勝以上は3分とする。

(3) 「試合場におけるコーチの振る舞いについて」を適用する。

10 勝敗決定方法

(1) 個々の対戦においては、勝ちの内容を「一本」、「技あり」、「僅差」の3種類とし、それに満たない場合は「引き分け」とする。

※「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技あり）がない、又は同等の場合、「指導」差が2以上あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。1差以内の場合は「引き分け」とする。

（「指導」数で勝敗が決する場合～2対0のみ）

(2) 試合は各部ともトーナメント戦で行う。

(3) チーム間の勝敗は次による。

ア 勝者数の多いチームを勝ちとする。

イ アで同等の場合は、「一本」（同等の勝ちを含む）による勝者数が多いチームを勝ちとする。

ウ イで同等の場合は、「技あり」による勝者数の多いチームを勝ちとする。

エ ウで同等の場合は「引き分け」であった対戦の中から1試合を抽選で選出し、2分間の代表戦を行う。勝敗が決しない場合は旗判定とする（GSは行わない）。

11 チーム編成

(1) 小学生・中学生男子の部は監督1名、選手5名、補欠2名の計8名、中学生女子の部は監督1名、選手3名、補欠1名の計5名とする。

選手の段、級及び学年順は自由とするが、負傷・事故防止のため、体重の重い順に大将から配列するものとする。また、欠員が生じた場合も同様とする。けが等で補欠起用が生じた場合は、改めて体重の重い順に大将から配列する。

明らかに体重順でない場合、体重測定を行い、チームを失格にする場合がある。

(2) 変更した選手は、以後の試合に出場できない。

12 表彰

(1) 各部の優勝、準優勝、第3位(2チーム)には東北柔道連盟及び東洋水産株式会社から賞状及び記念品を授与する。

(2) 入賞チームの中から最優秀選手を選考し、各部1名にフレッド・ワダ杯を授与する。

(3) 入賞チームの中から優秀選手を選考し各部5名(女子の部は3名)に優秀選手賞を授与する。

(4) 入賞チームの中から敢闘選手を選考し、小学生の部・中学生男子(女子の部は無し)の各部1名に神永昭夫杯、1名に天野芳太郎杯を授与する。

(5) 出場選手全員に東洋水産株式会社から参加賞を授与する。

(6) 2019年マルちゃん杯全日本少年柔道大会出場権

主催 (公財)全日本柔道連盟 特別協賛 東洋水産株式会社

<9月22日(日)東京武道館 東京都足立区綾瀬3-20-1>

小学生の部上位4チーム

中学生男子の部上位6チーム<5位決定戦(2チーム)を行う>

中学生女子の部上位2チーム

* 全国大会出場者は今大会のプログラムメンバーに限る。

13 申込方法

(1) 申込期日 2019年4月12日(金) ※ 期間厳守のこと。

上記期日までに申込用紙(別紙1)により郵送で申し込むこと。

(2) 申込先

〒028-0082 岩手県久慈市川貫5-20-230

久慈市立三船十段記念館内「第32回マルちゃん杯係」久松尚也 宛 (FAXは受付けない)

電話 0194-53-2210 携帯 090-2793-4431

(3) 申込期日後の選手変更は認めない。期日後に選手の負傷等が発生した場合は補欠から補充すること。

(4) 期日前の選手変更は選手変更届により申し込むこと。(別紙2)

14 経費

旅費、宿泊費等の経費は参加者負担とする。

15 宿舎

宿舎は各チームで手配すること。

盛岡旅館・ホテル組合 〒020-0025 盛岡市大沢川原3-1-2

電話019-622-1837(FAX019-622-1814)

16 保 険

- (1) 参加者全員を主催者負担で傷害保険に加入する。(健康保険証持参)
- (2) 大会中の不慮の負傷、疾病については応急措置は施すがそれ以外の責任は負わない。
- (3) 万一の事故発生に備え、各チーム独自の傷害保険加入等、万全の事故対策を立てておくこと。

17 組合せ

大会事務局でおこなう。

18 その他

(1) 駐車制限

大会当日、多数の来場が見込まれ、地域住民に多大な迷惑をかけることが予想されるため、岩手ナンバー車両は「日本たばこ産業(株)東日本原料本部駐車場」(盛岡市みたけ 2-8-20 7:00 開門)を利用してください。会場付近では監督・選手・父兄等の乗り降りのみとする。

ア 岩手県以外からの来場者は、必ず駐車場に駐車してから乗り降りすること。

イ 乗り合いでのご来場をお願いします。

- (2) 組み合わせ結果は 5 月初旬「岩手県柔道連盟ホームページ」に掲載予定(ヤフージャパンの検索から「岩手県柔道」で検索できます。)

(3) ゼッケン

ア 柔道衣に申込書記載チーム名のゼッケンを縫い付けること、付けていない選手は出場できない。

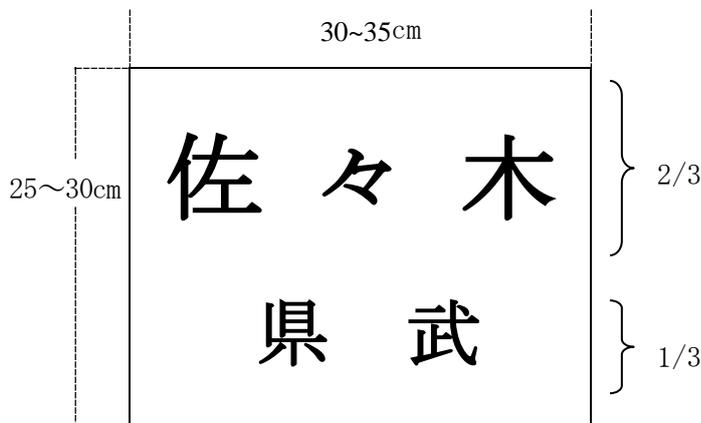
(認めない例～北陵中学校を北陵スポ少と表示、混合チーム等)

イ 同じ名字(姓)の場合は名前の一字を加える。

ウ 名字は上側 2/3、所属名(団体登録名)は下側 1/3 に記すこと。

エ 布地は白色、書体は楷書で、男子は黒色、女子は赤色とする。

オ サイズは下記のとおりとする。



(4) 「脳振盪対応について」

- 1 大会 1 ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診断を受け、出場の許可を得ること。
- 2 大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
- 3 練習再開に関しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
- 4 当該選手の指導者は、大会事務局及び全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。